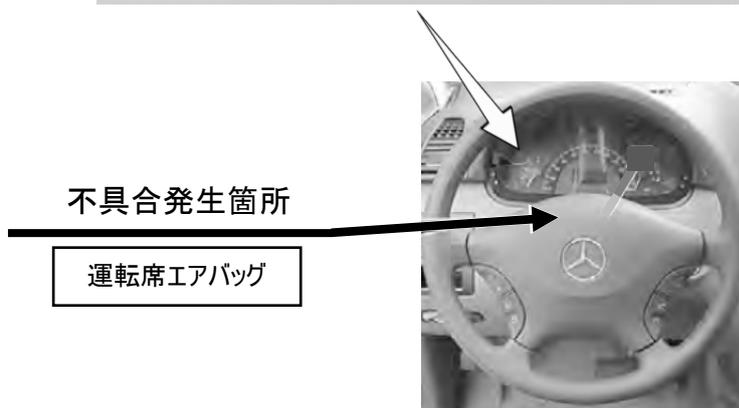


改善箇所説明図



注： は、交換、または点検する部位を示す。

補給部品として供給された運転者席用エアバッグのインフレーター(膨張装置)において、ガス発生剤の吸湿防止が不適切であった場合、高い湿度の環境下で温度変化を繰り返すと、ガス発生剤が劣化することがある。そのため、エアバッグ展開時にインフレーター容器が破損するおそれがある。

改善の内容

全車両、以下のいずれかによる措置を行う。

- ① 全車両、エアバッグユニットを対策品と交換する。なお、対策品の準備に時間を要することから、まずは全ての使用者に対し直接メールにより連絡し、対策品が準備できた段階で、年式の古い車両の使用者から再度連絡し、交換作業を行う。
- ② 全車両、運転席エアバッグを点検し、硝酸アンモニウムを使用した補給部品が装着されている場合は、対策品に交換する。

識別：車台番号の付近に黄色の識別ペイントを塗布する